

2020年度 社会福祉法人青谷学園事業計画書

■ 2020年をCSR (Corporate Social Responsibility) 元年とします

長期的に安定した事業を継続するためには、CSR (企業の社会的責任) 活動が不可欠な時代になりつつあります。当法人もCSRを継続的にいき、ステークホルダーの皆様から一層の信頼を得られるよう努めてまいります。

そして、法人としての信頼やブランド力を向上させ、優秀な人材の採用、長く働ける職場につなげてまいります。

社会福祉法人に対する期待や評価は、福祉を取り巻く環境や時代により変化します。2020年は、当法人に求められているCSRとは何かを感じ取り、地域や社会の期待に応えるCSR元年とします。

1 中長期計画の見直し

健全な法人経営を継続していくために、中長期計画の策定から3年目となる2020年度、法律や社会の変化に合わせた見直しを行います。CSR活動のひとつとなるSDGs (エス・ディー・ジーズ) への取り組みも検討します。

2 健全経営の取り組み

新型コロナウイルスによる景気低迷の影響が大きいことから、今後の支援費報酬の単価減額を見据えた予算とします。

健全経営を徹底するため本部職員を増員し組織の強化をはかります。より実効性のある組織体制を構築します。

3 働き方改革への取り組み

(1) パートタイム職員の均等均衡処遇

2020年4月1日から、パートタイム職員への不合理な待遇をなくすべく、給与の各種手当、賞与、特別休暇、慶弔見舞、福利厚生全般にわたって全面的な改正を行い、均等・均衡処遇を開始します。

(2) 時間単位年休の導入

より多様な働き方ができるように、時間単位年休を導入します。年次有給休暇のうち5日間までを時間単位年休に充てられるようにします。

(3) 残業の削減

すべての職員に「残業をしない」という意識を持ってもらいます。文書作成など非効率的な業務を洗い出して、ペーパーレス化や手順の見直しを行います。急な欠員に備えて、業務内容に柔軟性を持たせるようにします。これらにより残業ゼロを目指します。

4 健康経営の取り組み

(1) 健康保持・増進の取り組み

2020年の健康経営優良法人(大規模法人部門)の認定を受けました。継続的な認定を目指

し、4月から法人本部内に健康経営推進部を設置します。職員のさらなる健康の保持増進に向けて組織として取り組み発展させます。

(2) 健康アプリの導入

現在利用している福利厚生サービスのリロクラブのサービスのひとつ健康アプリを導入します。

自身のスマホにこのアプリを入れると、毎日の食事写真から栄養量がわかったり健康アドバイスが届いたりします。

また、健康診断結果を写真にしてアップするだけで、数値をデータ化し自動でアプリに登録できます。睡眠中にスマホと連動させると睡眠の質を知ることができます。

食事や健康状態をアップするごとにリロクラブで使えるポイントを付与しますので、利用促進が期待できます。

より多くの職員に健康管理を推し進めたいことから、リロクラブの加入対象者をこれまでの週30時間以上勤務者から週20時間以上に拡大します。

(3) 体成分分析装置の整備

職員やご利用者様の健康増進を進めるため、体内の水分や筋肉、脂肪などの体分量を分析できる体成分分析装置を整備します。

施設公開の時などでは近隣の地域住民の方にも利用していただき、地域の健康意識向上にも努めます。

(4) 生活習慣病の予防

生活習慣病の予防と早期発見のため、健康保険に加入している35歳以上の職員に生活習慣病健診を実施します。生活習慣病健診受診者には、男性には前立腺がん検診、女性には乳がん・子宮がん検診の受診も奨励します。

(5) 健康診断

健康保険に加入している35歳未満の職員には、定期健康診断を実施します。この内、生活支援員と看護師には腰痛健康診断を問診形式で実施します。

また夜勤をする生活支援員には特別健康診断を実施します。

(6) ストレスチェック

健康保険に加入している職員には、ストレスチェックを実施します。結果について集団分析を行い職場の環境改善に役立てます。

(7) 感染症予防

感染症対策として全職員にインフルエンザ予防接種を行います。

(8) 腰痛予防

腰痛発生リスクの高い職員には、腰痛ベルトを配布します。また始業時には腰痛予防体操を実施します。

5 人材育成と人材確保

(1) 処遇改善加算報酬による職員の賃金改善の継続

2013年から実施している処遇改善加算に加え、昨年度10月からは特定処遇改善加算も加わり、加算額全額を職員の賃金改善に充てているところです。引き続き加算を申請し、職員給与の現状維持を図ります。

(2) 賞与

賞与の支給率については、人員確保の観点から、他の社会福祉法人の平均的な支給率を上回る率を目指します。その財源として短期入所事業を活用し支援費報酬の減収を回避します。

(3) 女性活躍に向けた行動計画と一般事業主行動計画の推進

昨年、女性活躍推進法が改正され、2022年度から101人以上の中規模の法人でも「女性活躍に向けた行動計画」の策定が義務になりましたが、当法人ではそれに先駆けて昨年度に策定しております。2年間で女性の管理者比率を向上させるという目標を掲げ、達成に向けて行動しているところです。合わせて女性活躍推進企業認定の「えるぼし」の取得も目指しています。

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画も2019年4月から2年の計画期間で策定しており「くるみん認定」の更新を目指しています。

一般事業主行動計画では、「イクメンのすすめ」を推進しています。その第一歩としてイクボスの育成に力を入れています。男性の育児休業取得を目指します。女性の育児休業については多くの実績ができ、取得しやすい環境が醸成できたことから、次は男性の取得促進を図ります。

男女問わずワークライフバランスを推し進め、いっそう働きやすい職場環境とします。

(4) 年次有給休暇の取得促進

今年度に付与した日数に対して7割取得を目標とします。

(5) 福利厚生

株式会社リロクラブの福利厚生倶楽部の加入対象者を今年度から週20時間以上のパートタイム職員に拡大します。合わせて健康アプリにも加入し、豊富な福利厚生メニューを提供します。

(6) 職員紹介報奨制度導入の検討

職員に当法人への就職希望者を紹介してもらい、採用に至った場合には報奨金を支払う制度の導入について検討します。

6 危機管理対策の強化

(1) 災害対策

福祉避難所として、災害時には城陽市の一時避難所から主に障害のある方とその家族の受け入れをすることになります。施設のご利用者様と避難されてきた方、そして職員の安全確保と一定期間の生活を維持しなくてはなりません。昨年度に設置した長時間運転できる非常用自家発電機と6日分に増やした非常用食糧を活用し、事業が継続できる体制を整えます。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

薬のない新型コロナウイルスが蔓延した場合の備えを強化します。職員一人ひとりの危機意識の向上

を図ります。消耗品のストックを増やすとともに、少人数の職員でも事業が継続できるようにB C P (事業継続計画)の見直しをします。

7 情報セキュリティ管理の徹底

インターネットやコンピュータ周辺の環境、時代の変化に合わせたセキュリティ対策が必要になります。そこで、これまでの機械的なセキュリティ対策だけではなく、職員一人ひとりの情報管理に対する意識を向上させ、厳格にルールを守れるように情報セキュリティ教育を行います。

SECURITY ACTION宣言や情報セキュリティ基本方針に基づき、管理体制の強化を図ります。

8 地域社会への貢献

(1) フードバンクの取り組み

企業などから集められたロスとなる食品を集めて、子ども食堂に分配するための一時保管場所として貢献します。

京都府社会福祉協議会が取り組む京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」に参画して「京都式フードバンク事業」の役割も果たします。

(2) 食品ロス削減に向けて城陽市に協力

昨年度に食品ロス削減推進法が制定されたことから、城陽市も食品ロス削減対策に乗り出しました。早くからフードバンク事業を展開している当法人に城陽市環境課から協力依頼があり応えます。

(3) 実習学生等の受入れ

各種学校からの福祉現場実習学生や就業体験・職場体験の受け入れ依頼については、積極的に応えます。

このほかインターンシップを希望する学生さんには、就業体験の機会を提供します。インターンシップ生には日当交通費を支給します。

(4) 城陽市社会福祉協議会との連携

地域貢献を展開していく上で、地域のニーズを知る必要があります。そこで、さまざまな要望を集約されている城陽市社会福祉協議会と連携して情報収集し、地域貢献事業につなげていきます。

法人本部

1 CSR活動の検討

CSRを果たすべく具体的な内容について検討し実行します。ホームページによりその取り組みを公開し、ステークホルダーの皆様からの信頼を揺るぎないものとし、法人のブランドを築いていきます。

2 中長期計画の見直し

中長期計画策定から3年が経過したため、法律や社会の変化に合わせた見直しを行います。その一つとしてSDGs(エス・ディー・ジーズ)への取り組みを検討します。

3 役員

(1) 理事会・評議員会の開催

理事会を3回、定時評議員会を1回開催します。ただし、必要に応じて開催回数を増やします。また評議員に異動がある場合は評議員選任解任委員会を開催します。

(2) 監事監査

監事監査を5月中下旬頃に実施します。

(3) 役員・評議員・委員報酬規程の見直し

評議員及び常勤理事以外の役員が会議等で出向いた際の報酬について見直しをします。

(4) 役員賠償責任保険に加入

理事、監事、評議員、施設長が保証の対象となる役員賠償責任保険に継続加入します。また火災保険について法人本部部分について費用負担します。

保険料 170,000 円

4 職員

(1) 本部職員の増員

4月からこれまでの2.5人態勢から3人体制とし、より実効性のある組織とします。

本部職員は全員が衛生管理者資格を持っていることから、法人本部内に健康経営推進部を設けて、健康経営に関する様々な業務に取り組みます。

(2) 外部研修に参加

情報収集と資質向上のため、外部の研修会に積極的に参加します。

研修費 250,000 円

(3) 情報セキュリティ教育

職員一人ひとりの情報管理に対する意識を向上させ、厳格にルールを守るよう職員教育を実施します。

(4) 健康保持・増進

リクラブの健康アプリの導入及び体成分分析装置の整備をします。

健康アプリ	16,000 円
健康アプリ保守料	39,600 円
器具及び備品取得支出	1,390,400 円

(5) 家族の職場訪問の開催

一般事業主行動計画に基づく家族の職場訪問を障害者支援施設青谷学園と合同で夏休み中に開催します。

開催費 20,000 円

(6) 制服の支給

本部職員3名の制服の補充をします。

職員被服費 100,000 円

(7) 職員紹介報奨制度導入の検討

職員に当法人への就職希望者を紹介してもらい、採用に至った場合には報奨金を支払う制度の導入について検討します。

5 情報収集

(1) 全国社会福祉法人経営者協議会の加入

社会福祉に関する情報を取得するためと、協議会が開催する研修会に参加するため、引き続き全国社会福祉法人経営者協議会に加入します。

年会費 65,000 円

(2) 社労士顧問契約

人事や労務、助成金についての情報収集と、人事労務管理を適正に行うための相談先として、引き続き社労士と顧問契約を締結します。

顧問料 240,000 円

6 ソフトウェアの更新

利用者支援・支援費請求・給食のソフトウェアの更新時期が7月に到来します。引き続き東経システムの「福祉見聞録」を使用します。

器具及び備品取得支出 9,946,200 円

ソフトウェア取得積立資産取崩収入 8,245,680 円

7 地域社会への貢献

(1) フードバンクの取り組み

企業などから集められたロスとなる食品を集めて、子ども食堂に分配するための一時保管場所として貢献します。また、京都府社会福祉協議会が取り組む京都地域福祉創生事業「わっかプロジェクト」に参画して「京都式フードバンク事業」の食品の一時保管場所としての役割を果たします。

フードバンク事業費 320,000 円

京都地域福祉創生事業年会費 240,000 円

(2) 食品ロス削減に向けて城陽市に協力

城陽市の行う食品ロス削減に協力します。

(3) 城陽市社会福祉協議会との連携

城陽市社会福祉協議会や城陽市との連絡を密にし、地域から上がってきた要望の中で当法人にできそうなことがあれば、地域貢献事業として取り組めるか社協と連携して検討します。

障害者支援施設 青谷学園

近年、ご利用者様の高齢化が顕著に現れています。車いす使用者の増加を始め、介助を必要とする場面が日に日に増してきました。このようなことから日課を大幅に見直し生活面での支援を充実させます。

また、働き方改革に伴い様々な場面での業務改善を図ります。

ご利用者様がより安心・安全に過ごせるよう、職員一人ひとりが青谷学園の一員としての責任と誇りを持ち、職務を全うできる職場環境を整えます。

1 利用者支援

生活介護並びに施設入所支援及び空床型の短期入所事業を行います。

サービスを受けられる主たる対象者を知的障害者とし、サービスの通常の実施エリアを山城圏域とします。サービス提供時間並びに休日は次のとおりとします。

サービスの種類	提供時間	休日
施設入所支援	午後4時00分～午前8時00分	なし
生活介護	午前8時00分～午後4時00分	なし
短期入所事業	終日	なし

(1) 個別支援会議

ご利用者様の自己の決定と選択を尊重するため、すべてのご利用者様から意向を聞き取り、個々の特性に配慮した説明により選択肢を提示し、個別支援会議でご本人の思いの実現に努力します。

(2) 個別支援計画

直近のご利用者様の状況を反映した個別支援計画を作成します。通常は半年毎に見直しを行いますが、高齢化や病気などで見直しが必要な場合は期間を短縮して作成します。

(3) 生活支援

生活介護を必要とされるご利用者様に、作業、入浴、排泄、食事、着脱衣、静養の介護や、相談援助等のさまざまな支援を行います。

ア 作業

入浴剤の「バスボム」、檜の芳香剤「ヒノッキオ」、ビーズのアクセサリ「彩ブレスレット」、ヘアゴム「くるみちゃん」を自主製品として販売します。利益は全額現金でご利用者様に還元します。

販売収入	50,000円
材料費・利益配分	50,000円

イ 創作活動

折り紙、工作、絵画など「ものを創る」ことで自己表現するとともに、楽しみの充実につながります。手指を動かすことで老化防止の効果も期待できます。

材料費	30,000円
-----	---------

ウ 食事

個別栄養管理により、ご利用者様一人ひとりの栄養・健康状態に合った栄養量とした食事を提供します。塩分量は1日7.0グラムとします。

誤嚥ゼロを目指し、嚥下機能の測定結果や日々の咀嚼の状態から、普通食が困難と思われる場合は、刻み食やソフト食などその方に合った食事形態により提供します。

食材単価 朝 220 円・昼 320 円・夕 360 円

エ 入浴・排泄

入浴は毎日行います。通常の入浴が困難な方には、機械浴リフトや特殊浴槽での入浴を行います。病気等で入浴ができないときは清拭を行います。

適切な排泄援助を行うとともに、自主排泄を目指した支援を行います。

オ 健康管理

健康診断は9月と3月に行います。嘱託医による診察は月に2回設けます。また、歯科医による訪問診療を週に1回実施します。

健康診断費 540,000 円

カ リハビリ

リハビリが必要な方には、週1回理学療法士による機能維持訓練を行います。嘱託医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、サービス管理責任者、生活支援員が立てたリハビリテーション計画に基づいて実施します。

キ リラクゼーションセラピー

セラピストの資格を持つ職員がリラクゼーションセラピーを週2回行います。

ク 音楽セラピー

外部から音楽療法講師を招いて、音楽セラピーを月2回実施します。

音楽セラピー講師料 350,000 円

ケ 特別整容

車いすの方を対象に特別整容を実施します。主には足浴やマッサージを行い、血行促進から浮腫み改善につなげます。

コ 運動

ラジオ体操を午前と午後の2回実施します。また、高齢化するご利用者様の機能維持のため、朝食後に軽い運動を実施します。

サ 行事

施設内では次の行事を開催します。

行事開催費 800,000 円

7月	夏まつり
10月	ハロウィンパーティー
12月	クリスマスパーティー

シ 外出の機会

【買い物】

買い物は、市内の大型スーパーへ2か月に1回、近くのコンビニへ週に2回出かける機会を設けます。このほか生協の宅配購入の機会も提供します。

【余暇外出】

公園など地域の社会資源を利用した外出の機会を設けます。

【旅行】

旅行(自己負担)の機会を提供します。

引率職員保険料 10,000円

ス 金銭管理

日々の少額の現金管理のほか、ご利用者様の通帳をお預かりする預り金管理サービスを提供します。ご希望により利用することができます。

預り金サービス利用料収入 1,488,000円

セ 利用者自治会

ご利用者様で構成される利用者自治会の運営を支援します。

ソ アンケート調査の実施

ニーズに合ったサービスを提供していくために、ご利用様に対しアンケート調査を行います。

(4) 日課・月間予定表

	第1日曜日	第1月曜日	第1火曜日	第1水曜日	第1木曜日	第1金曜日	第1土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	機械浴 コンビニ買物	特別整容	コンビニ買物 余暇時間	買物 リラクゼーション	歯科 往診 創作	作業 リラクゼーション	シーツ 交換 リハビリ
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇 リハビリ
	第2日曜日	第2月曜日	第2火曜日	第2水曜日	第2木曜日	第2金曜日	第2土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	機械浴 コンビニ買物	理髪 作業	理髪 コンビニ買物	外出 リラクゼーション	歯科 往診 作業	音楽 療法 リラクゼーション	シーツ 交換 リハビリ
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	嘱託医 診察 入浴 余暇	入浴 余暇 リハビリ
	第3日曜日	第3月曜日	第3火曜日	第3水曜日	第3木曜日	第3金曜日	第3土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	機械浴 コンビニ買物	特別整容	コンビニ買物 余暇時間	買物 リラクゼーション	歯科 往診 創作	作業 リラクゼーション	シーツ 交換 リハビリ
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇 リハビリ
	第4日曜日	第4月曜日	第4火曜日	第4水曜日	第4木曜日	第4金曜日	第4土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
	機械浴 コンビニ買物	作業	コンビニ買物 余暇時間	外出 リラクゼーション	余暇時間	音楽 療法 リラクゼーション	シーツ 交換 リハビリ
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	入浴 余暇時間	嘱託医 診察 入浴 余暇	入浴 余暇 リハビリ

	第5日曜日	第5月曜日	第5火曜日	第5水曜日	第5木曜日	第5金曜日	第5土曜日				
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操				
	掃 除	掃 除	掃 除	掃 除	掃 除	掃 除	掃 除				
	機械浴 コンビ ニ買物	特別整容	コンビ ニ買物	余暇 時間	外出	リラク ゼーシ ョン	歯科 往診	創作	作業	リラク ゼーシ ョン	シーツ 交換
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操				
	入 浴 余暇時間	入 浴 余暇時間	入 浴 余暇時間	入 浴 余暇時間	入 浴 余暇時間	入 浴 余暇時間	入浴 余暇	リハ ビリ			

(5) 短期入所事業

帰宅や入院があった場合の空き居室を利用して短期入所サービスを提供します。入浴、排泄及び食事等の支援と見守りを行います。200日の利用を見込みます。

介護給付費収入 2,100,000 円

特定費用収入 138,000 円

2 苦情相談窓口

ご利用者の方からの相談をいつでも聞けるように、また、些細な訴えをキャッチできるように意見箱を設置します。苦情の内容については、ホームページなどで公表します。

3 安全対策

(1) 危機管理

事業継続計画に基づいた訓練を実施し聞きに備えます。災害用備蓄食料は帰宅できない職員分も含めて7日分ストックします。このほか火災、震災、洪水、不審者の侵入を想定した訓練を行います。また、不審者の侵入に備えるため、24時間監視装置による警備警戒をセコムに委託します。

災害備蓄食料・消耗品補充費 150,000 円

遠隔警備費 146,000 円

(2) 感染症対策

全職員にインフルエンザの予防接種を行います。給食従事者には、通常の検便項目の外にノロウイルス検査も行います。また調理エリアについては専門業者による衛生点検と衛生指導を定期的に行います。

インフルエンザ予防接種費 250,000 円

衛生検査費 340,000 円

検便費 500,000 円

4 職 員

(1) 職員教育

キャリアパス制度に基づいた人材育成計画により、人権、倫理、リーダー層の育成などについて、施設内・施設外の研修を組み合わせる職員教育をします。また、介護福祉士や社会福祉士等の資格取得を支援します。

研修費 1,000,000 円

(2) 人材確保

今年度からLINEWORKSを使ったオンライン面接を始めます。ビデオ通話により遠方の応募者

に対しても交通費の負担がなくスピーディーに採用活動を行うことができます。ホームページには施設紹介の動画をアップしており、応募者はそれを見て面接申し込みをします。

この他、就職情報サイト「マイナビ」を活用したり、就職フェアに参加したりして人員を確保します。

パートタイム職員を有効に配置することで人件費の抑制を図ります。

内定者には就業への不安を取り除いて安心して入職できるよう就業体験や行事の見学などのフォローアップを行います。

就職サイト掲載費 1,300,000 円

就職フェア参加費 100,000 円

(3) 福利厚生

加入している福利厚生倶楽部の利用を促します。

職員により結成された合唱団に対して、外部講師による練習費用を支援します。合唱団は行事の際に合唱を披露します。

会費 627,000 円

合唱指導料 115,000 円

(4) 腰痛予防対策

腰痛予防対策チームがノーリフティングケアの研修会を開催するなど、腰痛予防のさまざまな取り組みをします。

(5) 健康保持・増進

職員の健康保持増進のためリロクラブの健康アプリを導入します。加入者対象はリロクラブの会員とします。スマホで写真を撮るだけで健康診断結果をデータとして蓄積できたり、毎食の栄養量がわかったりします。

健康保持増進費 151,000 円

(6) ラインワークスの活用

情報共有のための手段として、引き続きラインワークスの利用を全職員に拡大するとともに、就職希望者や内定者との連絡にも利用します。

利用料 300,000 円

(7) 家族の職場訪問の開催

一般事業主行動計画に基づく職員家族の職場訪問を夏休み中に開催します。

開催費 150,000 円

5 情報公開

(1) ホームページの活用

ホームページを活用して様々な情報を公開します。

ホームページ管理費 132,000 円

(2) 広報誌の発行

ご利用者様とご家族様向けの広報誌「しゃらら」を毎月発行します。

6 設備等の整備

腰痛予防の機器やICTを活用した介護機器の導入に向けて取り組みます。補助金が付いた場

合には整備をします。

7 ご家族様に対して

(1) 家族契約会の開催

4月に施設利用契約会を開いて、ご家族様や成年後見人様に事業計画やサービスの内容について説明を行い施設利用契約の更新をします。

(2) 家族懇談会の開催

ご家族様と担任ごとのグループ懇談会と個別懇談会をそれぞれ年に2回実施します。

(3) 青谷学園サービス検討会の開催

家族の会役員と施設長を含む職員で構成する「青谷学園サービス検討会」を開催し、ご利用者様へのサービスについて意見交換や検討を行います。

(4) アンケート調査の実施

ニーズに合ったサービスを提供していくために、ご家族様にアンケート調査を実施します。

8 地域貢献

(1) 現場実習学生・中学生の職場体験の受け入れ

福祉を担う人材養成のため、各学校の施設現場実習学生や、中学生の職場体験の受け入れをします。

受入研修費収入 874,000 円

実習学生寝具レンタル料等 120,000 円

(2) インターンシップの受け入れ

インターンシップ生の就労体験を実施します。期間は本人の希望により1日または3日間のどちらかで実施します。

インターンシップ開催費 70,000 円

(3) 施設公開の開催

地域の方に青谷学園を知ってもらうため施設公開を11月に開催します。

開催費 60,000 円

障害者支援施設 DO

働き方改革や共生社会という大きな潮流に適応させて福祉サービスの提供をします。ご利用者様にとって真に必要なサービスは何かを探ること、それこそがご本人の意思を支援することになると考え、従来のサービスを大きく見直します。さまざまな変化にも対応できる持続可能な運営スタイルを目指します。

職員には研修の強化とノーリフティングケアの徹底に努め、残業は原則ゼロとします。

1 利用者支援

生活介護並びに施設入所支援及び空床型の短期入所事業を行います。

サービスを受けられる主たる対象者を知的障害者とし、サービスの通常の実施エリアを山城圏域とします。サービス提供時間並びに休日は次のとおりとします。

サービスの種類	提供時間	休日
施設入所支援	午後4時30分～午前8時30分	なし
生活介護	午前8時30分～午後4時30分	なし
短期入所事業	終日	なし

(1) 意思決定支援会議

ご利用者様の自己の決定と選択を尊重するため、すべてのご利用者様について意思決定支援会議を開いて、個々の特性に配慮した説明により選択肢を提示し、ご本人の思いの実現に努力します。

(2) 個別支援計画

直近のご利用者様の状況を反映した個別支援計画を作成します。通常は半年毎に見直しを行いますが、高齢化や病気などで見直しが必要な場合は期間を短縮して作成します。

(3) 人権委員会

月に1回程度、ご利用者様を交えて施設での生活について話し合います。職員のこと、設備のこと、要望、苦情、疑問点などを伺います。人権意識を高めると同時に、施設の取組みを分かりやすく伝えます。意思決定支援を重視する上でも、職員がパターンリズムに陥っていないかの監視とその排除にもつながります。

(4) 生活支援

生活介護を必要とされるご利用者様に、作業、入浴、排泄、食事、着脱衣、静養の介護や、相談援助等のさまざまな支援を行います。

利用者の方一人ひとりの生きる喜びや楽しみを第一に考えます。それは自立のためのモチベーションを高めるには不可欠なもので、生きる力となるからです。

ア 作業

働く意義や生きる喜びを実感するために作業を活用します。販売などの機会をとおして地域と関わり、障害のある人への理解を深めます。作業技術や意欲がある方を中心に高度な作業にもチャレンジし、作業の効率化を高め工賃収入アップを図ります。

作業の内容は次のとおりです。

喫茶 Cafe DO	施設内の喫茶Cafe DOで、飲み物やデザートの調理販売を行います。施設のプランター菜園で育てた農作物を使った商品も提供します。地域での販売も積極的に行います。
リサイクル自転車整備販売	宇治市から放置自転車を譲り受けて整備点検し、市役所やコミュニティセンターなどで販売します。
内職作業	(株)ユタカ産業及び西出製茶場の内職を主として行います。
アートの商品化	ご利用者様の制作するアートの商品化を目指します。

販売収入 2,800,000 円

材料費等・配分金 2,800,000 円

イ 創作活動

社会参加促進のためのアート展「DOアートジャンクション」を開催します。福祉の枠にとらわれず異業種団体・個人とコラボレーションを展開し実施します。

アートジャンクション開催費 100,000 円

ウ 食 事

味覚だけでなく五感全てを刺激するような食事時間を目指します。嗜好調査で人気のあった定番メニューを基本とした献立とします。米は徳島県限定農家の有機栽培のものを使用し、その他の食材についても、原則として原産地の明らかなものを使用します。

個別栄養管理により、ご利用者様一人ひとりの栄養・健康状態に合った栄養量や塩分量とした食事を提供します。普通食が困難と思われる場合は、刻み食などその方に合った食事形態により提供します。調理業務は専門業者による外部委託とします。

食材単価 朝 160 円・昼 420 円・夕 350 円

調理業務委託費 13,500,000 円

エ 入 浴

冬場はゆったりと入浴、夏場はシャワー浴とし、快適に過ごしていただけるようにします。

オ 健康管理

健康診断を年2回実施します。嘱託医による診察は月に2回設けます。嘱託医と相談し生活習慣病等の予防に取り組みます。また、歯科医による訪問診療を週に1回実施します。

健康診断費 340,000 円

カ 機能維持訓練

必要な方には、週1回に理学療法士により機能維持訓練を実施します。

キ 音楽療法

定期的にインストラクターによる音楽セラピーを実施します。

音楽療法講師料 185,000 円

ク 社会の時間SUPER(入所のみ)

地域での自立を目指すためのプログラムです。地域のスーパーや銀行、郵便局、コミュニティセンター等を自ら利用し、自分の力を試す機会を設けます。それぞれの能力に合わせてトレ

ーニングを行います。

ケ 運 動

ラジオ体操を午前と午後の2回実施します。運動の時間では、ゲームやスポーツ、機能維持運動などの運動プログラムを実施します。

コ メディテーションアワー

心豊かな生活を送るために、生の歌声や楽器演奏を聴く時間を定期的に設けます。

サ レクリエーション

レクリエーションは決して強制されるものでなく、できる限り参加しない自由を尊重します。語源からも re-create(自分自身を生き生きと作り直す)を基本にご利用者と職員の心が通い合う温かい行事を実施します。

4月	事業計画説明会	
5月	旅行	GWケア(入所のみ)
7～8月	夏のおでかけ(入所のみ)	涼祭(入所のみ)
9月	健康診断(入所のみ)	開園28周年記念行事
11～12月	スマイルミーティング	
12月	クリスマスイベント(通所のみ)	クリスマス会(入所のみ)
12～1月	大晦日イベント(入所のみ)	旅行(入所のみ)
1月	初詣(入所のみ)	
3月	健康診断(入所のみ)	

※旅行等の参加費用は自己負担です。引率職員費用も利用者の方の負担になります。

※近隣への買物や外食実習を不定期に実施します。(入所のみ)

行事開催費 200,000円

シ クラブ活動

ご利用者の関心や興味があるクラブに自由に参加できるクラブ活動を実施します。

あとりえ	絵を描くことを主とした創作活動グループ。何かを作り出すことで、自分を表現することを大切にしています。(実費は自己負担です)
ヨガ	定期的にインストラクターを招いて実施するヨガは、ストレス発散やリラククスなど精神安定や身体の内部から力をつけていくなどの効果があります。 ヨガ講師料 315,000円
スポーツチャンバラ	安全でわかりやすいスポーツチャンバラを実施します。健康維持やストレス発散に効果があります。 インストラクター料 25,000円
ちょこっとクッキング	作る楽しさや興味深さと同時に、簡単な手順の料理を通して、グループで作るという意義を感じます。(費用は自己負担です)

ス 金銭管理

日々の少額の現金管理のほか、通帳をお預かりする預り金管理サービスを提供します。ご希望により利用することができます。

預り金サービス利用料収入 552,000円

セ 利用者自治会

入所されているご利用者様で構成される自治会運営の支援を行います。活気、やりがい、連帯、楽しみにつながります。

ソ OK!DOグル

ご利用者様の「知りたい!」という欲求や好奇心に可能な限り答える時間を設けます。

(4) 日課・月間予定表日課

	第1日曜日	第1月曜日	第1火曜日	第1水曜日	第1木曜日	第1金曜日	第1土曜日
午前	整容 掃除	整容 掃除	整容 掃除	整容 掃除	整容 掃除	整容 掃除	整容 掃除
	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 余暇時間	作業	作業	作業	歯科 往診 作業・ク ラブ活動	作業 掃除	余暇 時間 機能 維持 訓練 生活
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	自治会 活動 余暇 時間	運動	作業	作業	スポーツ チャン バラ	運動	生活 余暇 時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	生活	入浴	生活	入浴	入浴
	第2日曜日	第2月曜日	第2火曜日	第2水曜日	第2木曜日	第2金曜日	第2土曜日
午前	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除
	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 余暇時間	作業	作業	作業	歯科 往診 ヨガ	作業 掃除	余暇 時間 機能 維持 訓練 生活
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	自治会 活動 余暇 時間	運動	嘱託医診察 作業	作業	スポーツ チャン バラ	運動	生活 余暇 時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	生活	入浴	生活	入浴	入浴
	第3日曜日	第3月曜日	第3火曜日	第3水曜日	第3木曜日	第3金曜日	第3土曜日
午前	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除	生活 整容 掃除
	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)	(通所利用開始)
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 余暇時間	作業	作業	作業)	歯科 往診 音楽 療法	作業 掃除	余暇 時間 機能 維持 訓練 生活
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	自治会 活動 余暇 時間	運動	作業	作業	スポーツ チャン バラ	運動	生活 余暇 時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	生活	入浴	生活	入浴	入浴

	第4日曜日	第4月曜日	第4火曜日	第4水曜日	第4木曜日	第4金曜日	第4土曜日
午前	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)				
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 余暇時間	作業	作業	作業	歯科 往診 作業・ クラブ活動	作業 掃除	余暇時間 機能 維持訓練 生活
	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
午後	自治会 活動 余暇 時間	作業	嘱託医診察 作業	作業 ティータイム	スポーツチャ ンバラ	運動	生活 余暇 時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	生活	入浴	生活	入浴	入浴
	生活	入浴	生活	入浴	生活	入浴	入浴
	第5日曜日	第5月曜日	第5火曜日	第5水曜日	第5木曜日	第5金曜日	第5土曜日
午前	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)				
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 特別 整容	作業	作業	作業	歯科 往診 作業・ クラブ活動	作業 掃除	余暇時間 理学 療法 生活
	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
午後	自治会 活動 余暇 時間	作業	作業	作業 ティータイム	スポーツチャ ンバラ	運動	生活 余暇 時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	生活	入浴	生活	入浴	入浴
	生活	入浴	生活	入浴	生活	入浴	入浴

(5) 短期入所事業

帰宅や入院があった場合の空き居室を利用して短期入所サービスを提供します。入浴、排泄及び食事等の支援と見守りを行います。26日の利用を見込みます。

介護給付費収入 274,000円

特定費用収入 42,000円

2 苦情相談窓口

ご利用者様からの相談をいつでも聞けるように、また、些細な訴えをキャッチできるように意見箱を設置します。苦情の内容については、ホームページなどで公表します。

3 安全対策

(1) 危機管理

避難訓練や消火訓練などを実施します。また、自己防衛のため、ご利用者様で組織する避難誘導隊の訓練を支援します。このほか、事業継続計画に基づいた訓練を行います。

災害備蓄食料用品費 200,000円

(2) 感染症対策

全ての職員にインフルエンザの予防接種を行います。Cafe DO担当者には、通常の検便項目の外にノロウイルス検査も行います。

職員インフルエンザ予防接種費 100,000円

検便検査費 88,000 円

3 職員

(1) 職員研修

施設内外の研修に参加させ、最新の情報収集と幅広い知識や技術を取得し、質の高いサービスを提供します。

研修費 200,000 円

(2) 人材確保

就職説明会をはじめ、全国の大学・専門学校やハローワークを中心に広く求人活動を展開して職員確保に努めます。

就職フェア参加費 50,000 円

求人広告費 110,000 円

(3) 福利厚生

加入しているリロクラブの利用を促します。

会費 250,000 円

(4) 腰痛予防対策

ノーリフティングケアを徹底し腰痛予防に努めます。

(5) 健康保持・増進

職員の健康保持増進のためリロクラブの健康アプリを導入します。加入者対象はリロクラブの会員とします。スマホで写真を撮るだけで健康診断結果をデータとして蓄積できたり、毎食の栄養量がわかったりします。

健康保持増進費 80,000 円

(4) ラインワークスの活用

施設からの伝達や職員間の連絡など、情報共有のための手段としてラインワークスを活用します。

通信運搬費 75,000 円

(5) 一般事業主行動計画

ア 一般事業主行動計画に基づく職員家族の職場訪問を開催します。

開催費 30,000 円

イ 年次有給休暇は9割取得を目指します。

4 情報公開

(1) ホームページの活用

ホームページを活用して情報公開に努めます。

ホームページ管理料 198,000 円

(2) 広報誌の発行

ご利用者様とご家族向けに、情報誌「もりもりプラス」を毎月、「もりもり新聞」を季節ごとに発行します。

5 各所修繕及び設備整備

ア 風呂用給湯管が老朽化しているため取り換えをします。

建物取得支出 4,500,000 円
建設積立金資産取崩収入 4,500,000 円

イ 職員通用口扉が変形しているため修理します。

職員通用口扉修理 230,000 円

ウ 雨漏り箇所の防水工事を行います。

東側壁面全面補修工事 3,500,000 円

6 ご家族に対して

定期的にご家族への連絡会を設け、施設事業について説明を行います。

7 地域貢献

(1) 現場実習学生の受け入れ

福祉を担う人材養成のため、各学校の施設現場実習学生の受け入れをします。

受入れ研修費収入 388,000 円

実習学生寝具洗濯費 10,000 円

(2) インターンシップ

インターンシップ生を受け入れます。高校生も対象としますが高等学校教育への援助・協力の一環としての就業体験を行うものです。

インターンシップ開催費 30,000 円

(3) DOスマイルミーティングの開催

障害者施設や障害がある人への理解を深めるため「DO Smile Meeting」を開催します。施設のオープンディとし、施設見学とふれあいイベントを行います。地域に住む障害のある方や一般市民に対して、施設機能や専門性をアピールし、施設や障害のある方への理解を深めます。

DO Smile Meeting開催費 100,000 円

(4) 出張講座

DOで27年間蓄積された援助技術のノウハウやプロセス等を学校や他施設に出かけて、無償で講演や発表・講習会を行います。

特定相談支援 青谷学園相談支援事業所

障害福祉サービスを利用される方に、ご本人の希望をよく伺い、サービス等利用計画の作成を行います。

モニタリング期間毎に適切な支援が行われているか、サービス提供事業所の利用状況や家庭環境を検証し、利用計画の見直しを行います。

1 営業日と営業時間

営業日並びにサービス提供時間は次のとおりとします。

営業日	月曜日から金曜日（祝日と年末年始を除く）
営業時間	午前9時00分～午後5時00分

2 計画相談目標件数

計画相談の目標件数を次のとおりとします。

モニタリング	141件
更新	19件

3 研 修

適切な計画相談支援等を実施するため、相談支援に関係する研修に参加します。

研修費 20,000 円